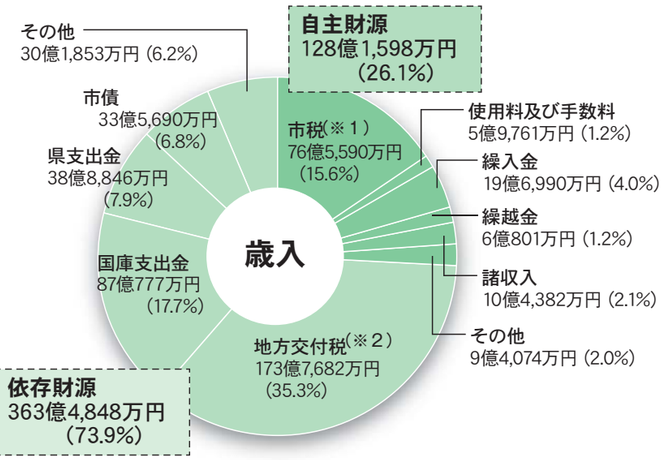
令和３年度

決算報告

市は、財政状況を随時皆さんにお知らせしています。皆さんが納めた税金が、この１年間でまちづくりにどう使われたのか、一般会計を中心に、概要をお知らせします。

一般会計歳入総額 491億 6,446万円



（※１）市民税 32億1,801万円（6.5%）、固定資産税 35億152万円（7.1%）、軽自動車税 3億2,812万円（0.7%）、市たばこ税６億759万円（1.2%）、水利地益税 66万円（0.0%）

（※２）普通交付税 159億4,082 万円（32.4%）、特別交付税 12億5,375万円（2.5%）、震災復興特別交付税 1億8,225万円（0.4%）

■表１　会計別決算状況

会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計		491 億 6,446 万円	479 億 3,657 万円	12 億 2,789 万円
特別会計	国民健康保険	94 億 8,449 万円	90 億 9,354 万円	3 億 9,095 万円
	後期高齢者医療	8 億 5,073 万円	8 億 3,501 万円	1,572 万円
	介護保険	104 億 8,151 万円	101 億 8,831 万円	2 億 9,320 万円
	土地取得	2,951 万円	2,950 万円	1 万円
	宅地造成事業	2,949 万円	2,930 万円	19 万円
会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額
企業会計	水道事業　収益的収支	26 億 5,579 万円	25 億 9,378 万円	6,201 万円
	水道事業　資本的収支	3 億 7,061 万円	12 億 8,003 万円	△ 9 億　942 万円
	下水道事業　収益的収支	37 億 5,983 万円	35 億 8,621 万円	1 億 7,362 万円
	下水道事業　資本的収支	22 億 4,787 万円	31 億 7,063 万円	△ 9 億 2,276 万円
	病院事業　収益的収支	82 億 3,306 万円	76 億 1,498 万円	6 億 1,808 万円
	病院事業　資本的収支	9 億　81 万円	9 億　3 万円	78 万円
	老人保健施設事業　収益的収支	4 億 5,654 万円	4 億 7,172 万円	△ 1,518 万円
	老人保健施設事業　資本的収支	6,207 万円	6,028 万円	179 万円

※水道事業会計および下水道事業会計における資本的収支不足額は、内部留保資金などにより補てんしています

■表２　令和３年度決算に基づく健全化判断比率　（単位：％）

指標名	内容（標準財政規模に対する割合）	健全化判断比率	基準値（令和3年度）早期健全化基準	基準値（令和3年度）財政再生基準
① 実質赤字比率	一般会計の赤字額の大きさ	－	11.94	20.00
② 連結実質赤字比率	公営企業会計を含む赤字額の大きさ	－	16.94	30.00
③ 実質公債費比率	借金の返済に充てた額の大きさ	7.1	25.0	35.0
④ 将来負担比率	将来負担すべき借金などの大きさ	69.0	350.0	－

新型コロナ感染症拡大対策や小中学校内ネットワークを整備

令和３年度一般会計歳出決算額は、479億3657万円となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市民・事業者を支援する事業として、子育て世帯等臨時特別支援事業、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業、飲食店等への新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金などを実施しました。さらに、小中学校校内ネットワーク整備事業、道の駅津山・もくもくランド再生可能エネルギー設備導入事業、ふるさと応援寄付金事業などに積極的に取り組んだ他、令和３年２月福島県沖地震などの度重なる災害で被災した各施設などの復旧事業を実施しました。

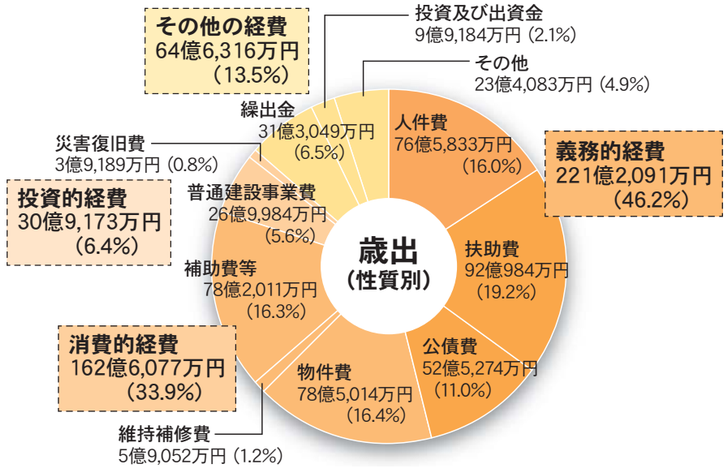
地方交付税などの依存財源が約74％

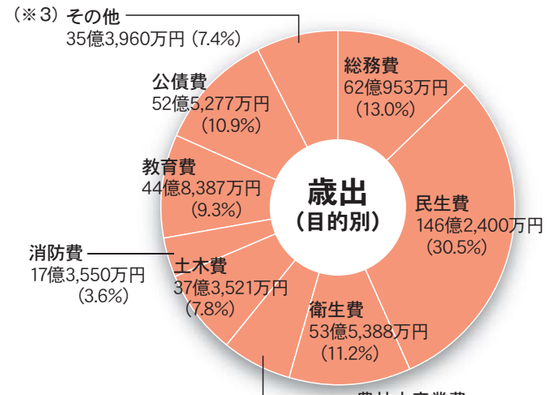
令和３年度一般会計歳入決算額は491億6446万円で、内訳は、地方交付税が173億7682万円（歳入全体の35・3％）、国庫支出金が87億777万円（同17・7％）、市税が76億5590万円（同15・6％）などとなっています。このうち、市税など自主財源の合計は128億1598万円で歳入全体の26・1％、残りの73・9％が地方交付税や国庫支出金などの依存財源であることから、国や県などの影響を受けやすい財政基盤となっています。

財政健全化の目安全基準値をクリア

健全化判断比率は、自治体の財政破綻を未然に防ぐために制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算出されるものです。令和３年度の各指標は全て基準値を下回っており、表３の全ての会計において資金不足額はありませんでした。将来負担比率は前年度から減少しましたが、県内市で最も高い比率となっています。

一般会計歳出総額 479億 3,657万円





（※３）商工費 27億7,507万円（5.8%）
災害復旧費 3億9,189万円（0.8%）
議会費 2億7,593万円（0.6%）
労働費 9,671万円（0.2%）

■表３　令和３年度決算に基づく資金不足比率　（単位：％）

区分	資金不足比率	資金不足額	事業の規模	経営健全化基準
① 水道事業会計	－	－	20 億 8,683 万円	20.0
② 下水道事業会計	－	－	7 億 6,344 万円	20.0
③ 病院事業会計	－	－	60 億 2,335 万円	20.0
④ 老人保健施設事業会計	－	－	4 億 1,684 万円	20.0
⑤ 宅地造成事業特別会計	－	－	20 万円	20.0

令和３年度
歳出決算額を市民一人当たりで見ると…　63 万 3,847 円
住民基本台帳人口 75,628 人（令和４年３月末人口）

総務費
8 万 2,106 円
行政の運営、庁舎や財産の維持管理などに使われる経費

民生費
19 万 3,368 円
赤ちゃんからお年寄りまで幅広い福祉の充実などに使われる経費

衛生費
7 万 792 円
保健衛生、健康づくり、ごみ対策などに使われる経費

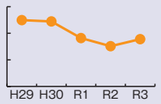
農林水産業費
3 万 9,697 円
農業や畜産などの振興と育成のために使われる経費

土木費
4 万 9,389 円
道路や公園などの整備に使われる経費

消防費
2万 2,948 円
火災や自然災害などの防災活動のために使われる経費

教育費
5 万 9,289 円
学校などの整備や教育振興に使われる経費

公債費
6 万 9,455 円
借り入れた市債の元利償還費などに使われる経費



その他
4 万 6,803 円
議会費・労働費・商工費・災害復旧費など

【問い合わせ】総務部財政経営課
☎0220（22）2159